子育て支援専門部会からの要望・回答

要望1・理由
<p>令和5年度にスタートした「港区こどもの居場所連絡会」は、区内の子どもの居場所の運営者が、相互に知り合い、地域や行政、社協と関係性ができ、また情報の提供・共有を行うことで、運営者が抱く課題や不安を共に考えることができ、子どもが安心して利用できる居場所づくりの一助となりました。</p> <p>令和6年度は、連絡会を定期的に継続的に開催し、また社協主導ではなく、企画から参加団体と協働して内容を検討し、当日の運営などを行っています。</p> <p>令和7年3月に「みんなの居場所マップ」を改訂します。令和7年度は、広く区内の子どもに「居場所」の存在を知ってもらえるよう、「みんなの居場所マップ」を手にとってもらえるように広報・周知に力を入れていきます。</p> <p>つきましては、港区役所にはこの連絡会へ継続して参画いただき、必要に応じたサポートと、また小中学生やその保護者への広報・周知をしていただきたく要望します。</p>
回答
<p>港区社会福祉協議会の皆さまにおかれましては、日ごろより子どもの居場所連絡会の運営にご尽力いただき誠にありがとうございます。港区役所からも引き続き連絡会に参画し、必要に応じた支援を継続していきたいと考えています。</p> <p>また今般、「みんなの居場所マップ」を改訂されるとのことですので、区広報紙や区役所ホームページ等あらゆる機会を活用し、必要な方に情報を届けられるよう、広報・周知について協力させていただきたいと考えています。</p>
港区役所保健福祉課

子育て支援専門部会からの要望・回答

要望2・理由
<p>今年度で3回目の開催となった「ひとり親家庭応援プロジェクト！お米券の配布」は、ひとり親家庭に対する食料支援（お米券の配布）を通して、孤立しがちなひとり親家庭に安心やつながりを感じてもらふことや、必要に応じた相談支援へとつながるきっかけになることを目的として行っています。</p> <p>このプロジェクトは赤い羽根共同募金の1つである、テーマ型共同募金（特定の地域課題やそのための活動を共同募金の募金テーマとして掲げ、課題解決に取り組む団体が主体となって、個人や企業に対して地域課題や自らの活動を伝え、寄付を呼び掛ける募金）を財源としています。</p> <p>令和7年9月頃開催予定の4回目の財源確保に向け、令和7年1月1日～令和7年3月31日まで募金活動を行っており、誰でも気軽に参加できるテーマ型募金を知ってもらえるよう、広報・周知に取り組んでいます。</p> <p>つきましては、行政関係や各所の窓口には募金箱の設置及び広報・周知にサポートいただきたく要望します。</p>
回答
<p>港区社会福祉協議会の皆さまにおかれましては、日ごろよりひとり親家庭支援にご尽力いただき誠にありがとうございます。</p> <p>区役所では公金外現金を取扱うことができないため区役所窓口への募金箱の設置はできませんが、広報・周知についてはできる限り協力させていただきたいと考えています。</p>
港区役所保健福祉課

子育て支援専門部会からの要望・回答

要望3・理由
<p>子ども・子育てプラザでは、日ごろから小さなお子さんと保護者が訪れます。</p> <p>区役所には心理士などもおられ、相談を受けると伺いましたが、基本的に対応できるのは月～金曜の日中になると思います。子ども・子育てプラザでも土、日にも保護者のお話や相談を受けることがあります。最終的には行政の方にご案内することが多くなります。平日に時間の取れない方もおられるため、何らかの形で土、日に相談対応できるよう要望します。</p>
回答
<p>港区子ども・子育てプラザの皆さまにおかれましては、日ごろより子育て支援の取組みにご尽力いただき誠にありがとうございます。</p> <p>区役所としまして、区役所閉庁日にも子育て相談をお寄せいただけるよう「メール相談」を実施していますが、回答については翌開庁日以降となっています。</p> <p>土日も開館しておられる子ども・子育てプラザでは、区役所開庁日に相談することが難しい方々からの子育て相談が寄せられていることを把握しております。</p> <p>より幅広い方々からの子育て相談に対応できるよう、子ども・子育てプラザとの連携を深め、区役所閉庁日にも対応できる環境の整備と、様々な相談機関窓口の広報・周知に努めてまいります。</p>
港区役所保健福祉課

子育て支援専門部会からの要望・回答

要望4・理由

近年、外国につながる児童や保護者が急増しています。

例えば保育所の入所申込書には、安全に保育するために保護者や児童の情報を詳細に記載しなければなりません。日本語を理解している方でも量が多く、もれなく記入することは大変です。また、乳幼児健診のご案内についても、案内自体がどのようなものなのか理解していただくことが難しく、未受診となってしまう方もおられます。

そのような現状から、申込書や制度案内などについて外国の方々にも優しく分かりやすい内容で作成していただくよう、要望します。また、その取り組みがオール大阪に広がってほしいと思います。

回答

ご指摘の通り、外国につながる児童、生徒、保護者は近年急増しています。

区役所ホームページでは、乳幼児健診について「こどものけんこう（やさしいにほんご）」、各種子育て情報について「子育て情報やさしい日本語版」（現在改訂作業中）を掲載しておりますが、各種制度の詳細説明や申請書の多言語化等には十分対応できていない現状にあります。

本市では、滞在または居住される外国人住民が、ことばの問題等で不利益を被らないよう、5カ国語による「外国人住民相談窓口」を開設しています。また、港区においても外国人住民専用行政相談電話番号を設けて、大阪国際交流センター等と連携しながらお問い合わせや相談の対応をしています。

また、日常生活を送るためこどもの通訳に頼っている方を対象に、こどものケア負担を軽減することを目的として通訳者を派遣し、区役所での行政手続き等に同行して通訳を行う「ヤングケアラー外国語通訳派遣事業」を実施しています。

引き続き、皆様からのご意見を伺いながら、外国につながる家庭が安心して子育てできる環境づくりに努めてまいります。

港区役所保健福祉課

子育て支援専門部会からの要望・回答

要望5・理由
<p>現在、主任児童委員は、主に各地域の子育てサロンを中心に未就学児の子どもさんから18歳の子どもさんまでを対象に活動しています。</p> <p>市のこどもサポートネット事業が始まってから、小中学校で開かれている課題のある児童・生徒のケース会議に呼ばれなくなっています。</p> <p>私たち主任児童委員は、地域に住んで365日24時間地域におります。区役所が開庁していない日にも活動できますので、改めて区役所より各学校等に主任児童委員の取り組みや役割を周知していただきたく要望いたします。</p>
回答
<p>主任児童委員の皆様におかれましては、日ごろから市政・区政へのご協力、地域での活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。</p> <p>小中学校で課題のある児童・生徒のケース会議については、その都度、出席していただくメンバーを調整しています。区役所から主任児童委員の取り組みや役割を各学校や関係機関に再度周知させていただき、必要に応じてケース会議に参画していただくことで、より良い支援につながると考えています。</p> <p>主任児童委員の皆さまが持つ地域への知識や経験を活かせるよう努めてまいりますので、今後ともご協力をお願いします。</p>
港区役所保健福祉課